

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立九条東小学校  
令和 7 年 4 月

## (様式2)

## 大阪市立九条東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった						
年度目標	達成状況					
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を大阪市の目標85%以上にする。 (R6 経年 : 89.2%)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を大阪市の目標77%以上にする。 (R6 経年 : 91.9%)</li> </ul>						
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標			進捗状況			
<b>取組内容① 【(1) 安心・安全な教育環境の実現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめや暴力行為、不登校など、問題行動について未然防止・早期発見・迅速な対応に努める。</li> <li>○ 職員会議や児童理解全体会、生活指導委員会で話し合われた内容を共有し、日々の指導にあたる。</li> <li>○ 学校全体で子ども達が相談しやすい雰囲気を醸成する。</li> <li>○ 毎朝玄関に立ち、登校してくる児童の安全を確認する。</li> </ul>						
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和7年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについての解消率100%を目指す。 (R6 校内 : 100%)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 (R6 経年調査 : 91.9%)</li> <li>○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率0%を目指す。 (R6 校内 : 0%)</li> <li>○ 「学校安心ルール」を活用し、年に2回（前期・後期）、自分の言動について振り返らせる。</li> <li>○ 「スクリーニングシート」を作成し、学期に1回以上スクリーニング会議を実施し、児童の小さな変化も教職員全体で共有する。また、区役所こどもサポートネットと協働して、スクリーニング会議Ⅱを実施する。</li> <li>○ 校内児童アンケートにおいて、「学校は、楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。 (R6 校内 : 92%)</li> <li>○ 校内児童アンケートにおいて、「困ったときに、先生は、話を聞いてくれますか」</li> </ul>						

<p>に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">(R 6校内 : 100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内児童アンケートにおいて、「困ったときに、助けてくれる友達はいますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R 6校内 : 100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連絡なく欠席または遅刻している場合は、養護教諭を中心に毎朝家庭に連絡をする。欠席や遅刻が続くような場合は、家庭訪問を行い、保護者の協力を得て児童の登校を促す。</li> </ul> <p><b>取組内容②【(1) 安心・安全な教育環境の実現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月の生活目標の周知を行い、きまりを守ろうとする意識を高める。</li> <li>○ 場に応じたあいさつや言葉づかいができる子を育てる。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内児童アンケートにおいて、「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を92%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R 6校内 : 100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内児童アンケートにおいて、「『おはようございます』『さようなら』などのあいさつをすすんでしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R 6校内 : 100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内児童アンケートにおいて、「正しいことばづかいをするよう、こころがけていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R 6校内 : 94%)</p> <p><b>取組内容③【(2) 豊かな心の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校行事やたてわり班活動、クラブ活動、委員会活動等の異学年交流や学級活動を通して、互いの違いを認め合い、一人一人のよさが発揮できる集団を育成する。</li> <li>○ 「いいとこみつけ」を全校で年間を通して取り組む。</li> <li>○ インクルーシブ教育を推進する。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小規模校の特性を活かし、異学年との交流を工夫し毎週行う。(児童集会・たてわり班遊び・たてわり清掃・ペアタイム等)</li> <li>○ 校内児童アンケートにおける「友達のいいとこみつけができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R 6校内 ; 94%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内児童アンケートにおける「たてわり班やペア学年での活動は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R 6校内 : 94 %)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を77%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R 6経年 : 91. 9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を96%以上にする。</li> </ul>	
--	--

(R 6 経年 : 97.3%)

- 合理的配慮の観点に基づく、個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成、毎学期見直し、インクルーシブ教育を推進する。

取組内容④【(2) 豊かな心の育成】

- 体験学習を通して、発達段階に応じたキャリア教育を実施し、好奇心や探求心、職業観を養う。
- キャリア教育の年間計画を立て、実施する。

指標

- 小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持ってますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.5%以上にする。
- 各学年が年間で 1 回以上ゲストティーチャーを招いた体験学習を行う。
- 「キャリア・パスポート」の年間計画を作成し活用する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## (様式 2)

## 大阪市立九条東小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 (全国平均・大阪市平均以上を目指す。)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 (全国平均・大阪市平均以上を目指す。)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50 % 以上にする。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 大阪市の目標 62.6 % 以上にする。 　　経年調査 67.6 %</li> </ul>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容① 【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が「わかった・できた」を実感できるように ICT 機器を効果的に活用した授業づくりをする。</li> <li>○ 話し合いを通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができるよう授業展開を工夫する。</li> <li>○ 東っこタイムを活用し、基礎学力の定着に努める。</li> <li>○ 外国語活動・英語学習では、C-NET や外部講師と協働し、授業を工夫する。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50 % 以上にする。 (R6 経年 62.2%)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「国語の授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 70 % 以上にする。 (R6 経年 100%)</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「算数の授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 70 % 以上にする。</li> </ul>	

(R 6 経年 94.6%)

- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を 80 %以上にする。

(R 6 経年 83.8%)

- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。

(R 6 経年 78.4%)

- 東っこタイムで、視写、漢字、計算に取り組む。また、「東っこ学期末漢字テスト」を年間 3 回実施し、正答率を 80 %以上の児童を 80 パーセント以上にする。

1 学期 91% 2 学期 92% 3 学期 96%

取組内容②【**基本的（5）健やかな体の育成**】

- 児童が積極的に体力・運動能力の向上に取り組めるように「体力テスト記録用紙」を活用し、保護者とも情報共有する。
- 体育の指導を工夫・改善するとともに、楽しく体力を高める場や機会を設定する。
- 健康週間を設け、手洗い・うがい・歯みがきの習慣を身につけさせる。
- 年間指導計画をもとに「食に関する指導」を行い、好ききらいなくバランスよく食べる習慣を身につけさせる。
- 各種たよりを年間通じて発行する。
- H P と校内掲示での食育・給食・保健関係の情報発信を昨年度と同様に行う。

指標

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 62. 6 %以上にする。 (R 6 経年 67.6%)
- 学級遊びやたてわり班遊び、ペア遊び等で週 1 回以上体を動かす機会を設定する。
- 校内児童アンケートにおける「自分の健康（手洗い・うがい・歯みがき・姿勢など）に気をつけていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 90 %以上にする。 (R 6 校内 : 100%)
- 校内児童アンケートにおける「給食を楽しく食べていますか。」に対して、児童の肯定的な回答の割合を 80 %以上にする。 (児童アンケート 94 %)
- たより（食育だより・給食だより・保健だより）を月 1 回発行する。
- H P と校内掲示等を活用し、タイムリーな食育・給食・保健関係の情報を発信する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

## 大阪市立九条東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった			
年度目標	達成状況		
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%（大阪市の令和7年度の目標）以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。）</li> </ul>	61.6%		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第二期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を75.1%以上にする。</li> </ul>			
<b>基準1 75.00 (R 5 68.42%) 基準2 93.75 (R 5 94.74%)</b>			
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況		
<b>取組内容①【(6) 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育情報利用パソコンなど、ICT機器を毎日活用する。</li> </ul>			
<b>指標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「n a v i m a」や「心の天気」を日常的に活用する。</li> <li>○ 各学年のICT到達目標に応じてICTスキルを向上させる。</li> <li>○ 調べ学習や発表資料の作成等に活用する。</li> <li>○ 校内児童アンケートにおける「学習者用端末を活用していますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	(R 6 校内 : 98%)		
<b>取組内容②【(7) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 週に1回「ゆとりの日」を設定し、教職員の働き方改革を推進する。</li> </ul>			
<b>指標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校全体の教員の平均時間外勤務時間を30時間以内にする。</li> </ul>	R 7 3月末；21時間18分		
<b>取組内容③【(7) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学力向上支援チーム事業」の活用と主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組む。</li> </ul>			
<b>指標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての教員が、年間1回以上の研究授業または公開授業を計画的に実施する。</li> <li>○ メンター研修を年10回実施し、若手教員の指導力・授業力等の向上を目指す。</li> </ul>			
<b>取組内容④【(8) 生涯学習の支援】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校図書館を活用した調べ学習や読書活動の活性化を図る。</li> <li>○ 児童が本に親しむことができる環境を整える。</li> <li>○ ブックトラックの運用や「こども新聞」の掲示等、言語環境を充実させる。</li> </ul>			

指標

- 校内児童アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 76.5 %以上にする。

(R 6 校内 : 79%)

- 図書の年間貸出冊数について、前年度の実績を維持する。

(4~1月 62.0 冊)

取組内容⑤【(9) 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- 学校ホームページや保護者メールを活用し、保護者や地域に向けて積極的に情報発信・情報共有を行う。
- 学校協議会を定期的に開催し、積極的な協議を行い、学校運営に反映させる。
- 保護者向けに「家庭学習の手引き」を配付し、家庭学習の定着を図る。

指標

- 課業中は、学校ホームページの更新を毎日 2 回以上行う。
- 学校協議会を年 3 回開催し、協議内容を学校運営に積極的に反映させる。
- 「家庭学習の手引き」を毎年 1 回配付し、保護者の意識を向上させる。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点